

支部協だより

第108号

発行所
 NTT労組退職者の会
 沖縄県支部協議会
 沖縄県浦添市城間4-35-2
 TEL.098-870-7101
 FAX.098-875-7450
 責任者
 黒島善市

総会、盛大に開催

会長以下全員留任

副会長 垣花 廣光



第14回定期総会参加の皆様、ご苦勞様でした。106名の参加で始まりました。今回は、総会の審議に時間を割いて、挨拶を懇親会に持つて行きました。

総会は、安里優さんを議長に選出し、冒頭、物故者への黙祷で始まりました。

来賓挨拶は、中央協議会会長岩河良美氏、名護市議神山正樹氏から頂戴しました。

引き続き、黒島会長から一年間の所感が述べられ、特にMV22オスプレイの普天配備に触れ、命限り、撤去まで頑張ると表明しました(議案書の表紙が赤いのはその戦う決意の色です)。

長嶺事務局長からは、1年間の経過報告と、向こう1年の活動方針が提案され、

質疑応答の後、満場一致で可決されました。

質疑は、久米島との交流は、「会員だけに限定せず、地域の文化イベント、平和学習等との交流を考える」ようにしたらどうかと、提案がありました。

また、北部地協から、「総会への参加者に対する交通費の補助の質問」がありました。役員改選では、全員が留任しました。



岩河吉美中央協会長の激励の挨拶



激忙の中、駆けつけていただいた参議院議員の吉川さおりさん

懇親会は、吉川さおり参議院議員も駆け参じ、固い絆を確かめました。会員には1年ぶりの再会に話題が沸騰していたようです。

今回の前座は、スーパー観光ガイドと評判の崎原真弓さんの「一人芝居」を鑑賞しました。琉球王国の発祥の地久高島から始まり、67年前の沖縄戦の砲弾の中を彷徨うオバアの語りをおして、平和の尊さを切々と訴えました。会場は、シーンと静寂、己の時代と重ねているようでした。

来年もこのような総会、懇親会にしたいと思えます。100名以上が参加する総会にしましょう。

尋ね人 名渡山兼業さん(96歳)

10月20日明け方、長男兼雄さん宅(南城市玉城堀川)から家を出たまま帰宅していません。心当たりの方はお電話ください。

ご協力 電話090-4999-3261
 お願い またはお近くの交番へ



三線クラブの幕開け



熱心に議案を読む皆さん



総会にいつも爽快な花を添えていただいている民舞の皆さん

会長あいさつ(要旨)

会長 黒島 善市



総会にご参加いただき感謝する。お互いの健康を気遣い、絆を深めるのも総会の大きな目的の一つだ。

① 米軍普天間飛行場の即時閉鎖・返還について

日米両政府が普天間飛行場の返還合意をしてから16年になる。オスプレイの配備は、その原点である「基地の負担軽減」と「危険性の除去」に逆行している。去る9日、県知事や宜野湾市長の直訴に対し、政府と首相は歯牙にも掛けなかった。

緊急提案をさせていたいただきたい。それは、普天間飛行場を閉鎖に追い込むための一つの手段として、アドバリンを揚げ、飛行機が飛べないようにしたい。そのためのカンパの要請をします。米軍は日米地位協定に守られ、航空法の適用外をいいことに、好き勝手に使用している。そうさせてはならないと思う。

② 政治について
 3年前、政権交代を成し遂げた。しかし、その後参



元気な「ニッポン」再生

よしかわ
吉川さおりさん

院選で惨敗。組織内参議院議員の石橋みちひろさん(所用で急遽欠席)は2年前、普天間の県内移設が閣議決定されると、ただちに沖縄県民の意向を踏まえていないと、自身のブログで公表する等、素早い行動をしている。政権与党内からの声は、外部や野党と違い、大きなインパクトがあると思う。情報労連は、今年で20回目の沖縄ピースすてーじを開催。石橋みちひろさんは今年も参加した。「吉川さおり」さんは公務で参加できなかったが、平和四行動には積極的に参加され心強く思っている。

③ **組織の強化・拡大**
総支部の福祉推進委員会

以前から崎原真弓さんのことは周囲からの評判の声もあり、一度は聴いてみたいとの思いがあつた矢先、その機会が巡ってきました。見た目はかなりきゃしゃで小さな真弓さんが、舞台に立つと驚くほど大きく見え、魂をこめた演技は迫力と感動で胸が一杯になりました。舞台では目に見えないチムグクル、自然の神々に感謝をし、御先祖様に感謝を忘れず、うちなーんちゅのチムグクル、マクトすればナントカナルサーという

懇親会

崎原真弓さんに会って

上原とよ子

による全面的な協力で、退職者のほぼ全員が会に加入している。総支部の取り組みに応えるためにも、現退一致はもちろん、会員に喜ばれる活動をしていきたい。機関誌への投稿、情報の提供など協力をお願いする。東日本大震災の復興や福島島の原発事故処理は、息の長い取り組みとなる。今後とも忘れることなく、ご理解とご協力をお願いします。会員相互の親睦・交流を深めていきましょう。

言葉で始まりました。琉球の歴史をその時代背景をまじえ、琉球王国が四五〇年続いたとの事です。歴史の苦手な私でもかなり興味をもって聞く事が出来ました。歌、三線、空手舞踊をとり入れた一人芝居、先人達の想いをオバーの語り口で、いよいよクライマックス。戦争体験のない真弓さんがまるで体験したかのごとく、体をふるわせ涙をこらえての熱演が始まりました。安全だと入った防空壕では、子供が泣き叫び日本兵からなんとかしろと銃剣をつきつけられ、二人の子供を自分の手で殺してしまふのです。実際に自分の子供を亡くしたオバー達の思いがすぐく伝わりました。戦争は人の心を破壊する、憎しみと恨みしか残らない人の情や自然の姿をなくしてしまう、私達は戦争をす

事務局だよ!

金城 健一 (那覇市)

いました。オバーの一人芝居は見る人、聞く人の心をとらえます。真弓さんいわく、自分の夢はあきらめないで下さい。あきらめない限り夢は続きます。なんと勇氣、元氣のである言葉でしょう。最後にすばらしい講演を企画して下さい。先輩の皆様方、大変ありがとうございました。感謝です。

普天間は飛行場ではなく、普天間基地だ。航空法が適用されないで、風船やアドバルーンを揚げることは何の問題もない。相手が困っていることがはっきりした。今後、全体で取り組むことが決定されたらご協力をお願いしたい。

(2) 総会の反省

あ 会場内の大きな柱が気になりました。

い 来賓の方々のご挨拶は、交流会の場で良い。総会での意見交換時間を取る。

う 新会員の参加者を紹介して欲しい。

え 「トゥバラーマ」や「なりやまあやく」だけでなく、各地域の代表的な民謡を歌い継がせて欲しい。北部の二見情話等。

お 総会と懇親会の間については、次年度は「明るい話題もの」を入れて欲しい。

か 場所：参加しやすかった

き 料理・飲み物：まあまああ。

く 北部、宮古、八重山地区協の報告を求める。

け 懇親会終了後アンケートを取る。

* 年末調整・確定申告に使用する「地震保険料や生命保険の控除対象共済掛金証明書」は送付された「2013年手帳」と共に同封されています。

共済掛金の引き落としは、

新年号に写真を掲載
会員の皆様から、正月号(カラー)にふさわしい写真(カラー)を募集します。一人1点、12月12日必着です。

- 今年11月26日です。引き落としが不可能とならないように預金通帳の残高確認をお願いします。
- コンビニ振込の会員は、振込用紙が期限切れとなる前に、早目の振込をお願いします。また、自動引き落としの手続きにご協力をお願いします。
- 年間計画の概要について**
- 1月：琉歌碑めぐりの参加者募集(2月実施)
 - 2月：トゥンビビ祝いの者の振込先の呼びかけ。パークゴルフ実行委員会開催
 - 3月：パークゴルフ大会の実施。トゥンビビ祝いの者の祝い金振込
 - 4月：5月の全国交流会への参加(2人派遣します)。
 - 5月：久米島会員との交流会：見学箇所と交流会の日程調整、6月実施。
 - 6月23日前後：ピースすてーじ参加。嘉手納基地の半周行動、基地と戦跡巡り
 - 7月、9月中旬：全国の総会後、第15回総会議案検討開始
 - 8月、10月：第15回総会と懇親会の開催